森下仁丹

株主の皆様へ

第88期
事業報告書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

森下仁丹株式会社

証券コード：4524

株主の皆様には平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループの第88期（2024年4月1日から2025年3月31日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。よろしくご高覧賜り、今後ともより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

森下 雄司

01 事業の概況について

当連結会計年度におけるわが国経済の景気は、一部に弱い動きが残るものの、緩やかに回復しています。個人消費は物価高の影響から一部に弱い動きが見られますが、持ち直しております。設備投資は、人手不足による供給制約が抑制要因となっているものの、高水準の企業収益を背景に底堅く推移しております。

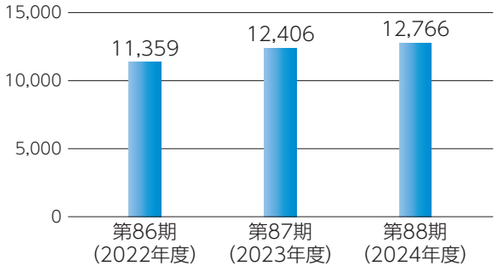
このような経済環境のもと、当社グループは、モノづくりの原点である「仁丹」から発展した「球体技術」や「素材研究」を基盤とするシームレスカプセル受託事業及び機能性原料の販売が、業績に大きく寄与しました。

コンシューマー事業は売上面・利益面ともに減収となりましたが、ソリューション事業はいずれも増収となったため、全体としては売上・利益面ともに増収となっております。当期は、当社が製造販売していた化粧品「販売名：仁丹パックシートH」の自主回収に伴う費用を計上しておりますが、コンシューマー事業ではインバウンド需要の取り込み強化及びプロモーション戦略の見直しによる効率化、ソリューション事業は機能性原料販売及びシームレスカプセル受託製造の増加、また全社的にコストコントロールの徹底化を図ったことが、全体の売上・利益面の増収につながっております。一方で、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、固定資産の減損損失及び保有株式の評価損を計上したことにより、減益となりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高12,766百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益804百万円（前年同期比12.3%増）、経常利益870百万円（前年同期比6.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益547百万円（前年同期比21.5%減）となりました。

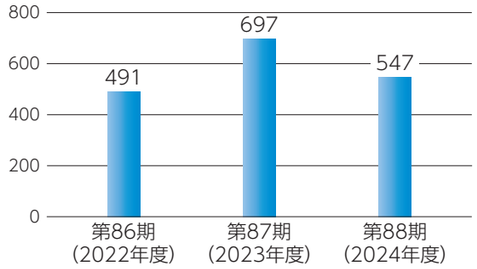
■売上高

（単位：百万円）



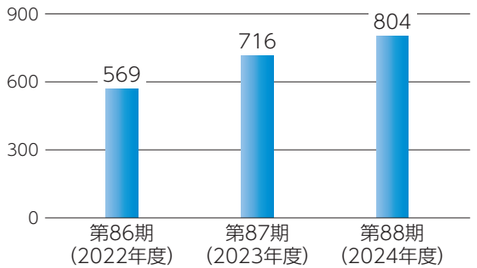
■親会社株主に帰属する当期純利益

（単位：百万円）



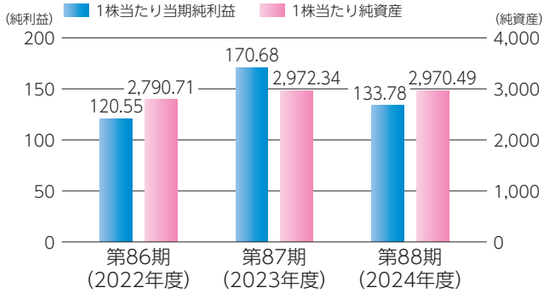
■営業利益

（単位：百万円）



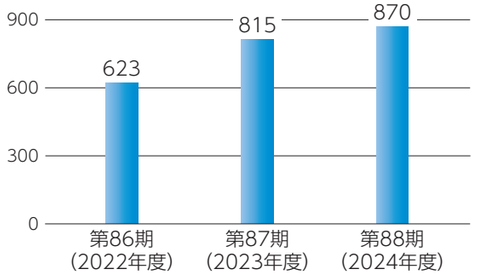
■1株当たり当期純利益・純資産

（単位：円）



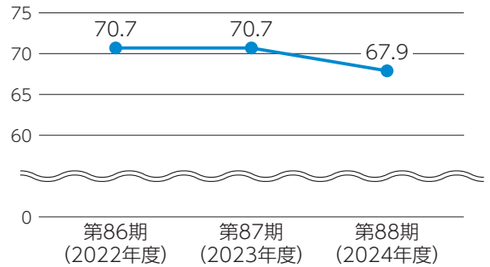
■経常利益

（単位：百万円）



■自己資本比率

（単位：%）



コンシューマー事業

自社製品・サービスを提供する

創業者 森下博は「飲みやすく、携帯・保存に便利な薬を作りたい」という思いで「仁丹」を開発しました。仁丹で培われた素材研究と技術から発展させた機能性素材とシームレスカプセル技術を応用し、健康課題に合わせた様々な製品やサービスを提供。国内での通信販売、小売業者・卸売業者様への販売に加え、海外展開も積極的に行っています。

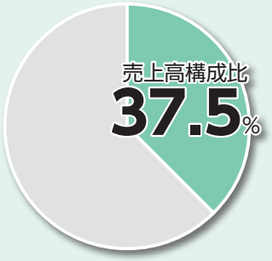
当期の概況

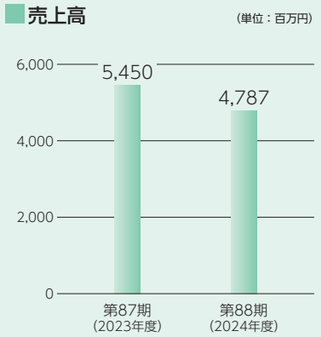
当セグメントにおきましては、主力製品である「ビフィーナ®」のインバウンド需要が増加した一方、プロモーション戦略の最適化期間中における新規顧客獲得数の減少、及びパックシートの自主回収により減収となりました。また、大型新ブランド「腸テク」シリーズの2025年4月発売に向けたプロモーション準備に伴い、一時的に減益となりました。

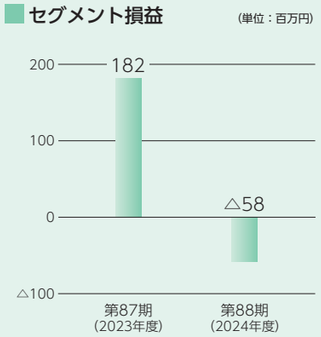
しかし、当社は創業時より「毒滅」「仁丹」など社会課題に対応した製品の提供を通じて企業ブランド価値の向上に努めてきたことから、今後もこの姿勢を大切にし、コンシューマー事業を重要な領域として位置付けてまいります。

2025年2月には、当社のモノづくりの原点といえる「仁丹」シリーズが発売120周年を迎えました。これを契機に、アニバーサリー施策を通じて既存顧客との関係性を深めるとともに、新たな顧客層との接点拡大や、多様なステークホルダーとのエンゲージメント強化に取り組んでおります。更に、「腸テク」シリーズを軸としたマーケティング戦略の推進と自社製品のグローバル展開を加速させることで、持続的な成長と収益性の改善を目指してまいります。

当セグメントにおきましては、売上高は、4,787百万円（前年同期比12.2%減）、セグメント損失は、58百万円（前年同期は、セグメント利益182百万円）となりました。







ソリューション事業

他社と協同しお客様の課題を解決する

製品・サービスの高付加価値化、差別化を一気通貫で支援。お客様の要望・課題に応えられるよう、当社が持つカプセル製剤技術・錠剤製剤技術・機能性素材と、他社の技術を組み合わせ、新しい価値を生み出しています。

品質管理についても、医薬品GMP基準、または健康食品GMPを取得した工場で製造することで、国内外の企業様に安心と安全をお届けしています。

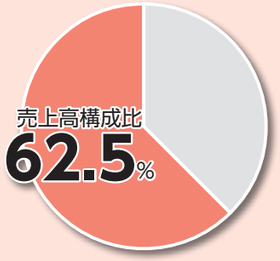
当期の概況

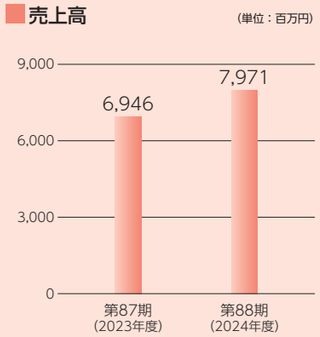
当セグメントにおきましては、自社製品の開発過程で生まれたシームレスカプセル製剤技術による受託製造及び機能性原料販売が引き続き堅調に推移しております。特に、ローズヒップ（機能性原料）、ジェネリック医薬品、フレーバーカプセルの販売が前年同期を上回り、売上、利益面ともに増収となりました。

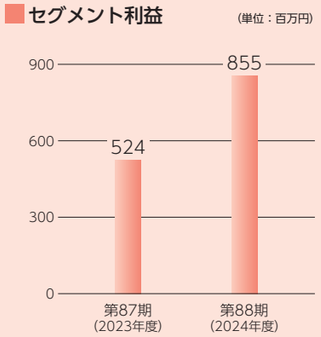
自社製品開発を起点とする技術基盤がソリューション事業の差別化を支える一方、当事業で培われた技術や知見は、今後の製品開発にも活用される見込みであり、コンシューマー事業の発展にも寄与すると考えております。

今後は受託事業・機能性原料販売の強化に加え、パートナー企業やアカデミアとの共同研究を通じて、社会課題の解決にも取り組んでまいります。

当セグメントにおきましては、売上高は、7,971百万円（前年同期比14.8%増）、セグメント利益は、855百万円（前年同期比63.2%増）となりました。







連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当連結会計年度 (2025年3月31日現在)	前連結会計年度 (2024年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	8,187	7,053
現金及び預金	1,940	1,092
受取手形	578	411
売掛金	2,060	2,030
商品及び製品	1,165	1,063
仕掛品	1,080	1,048
原材料及び貯蔵品	1,033	1,074
未収入金	45	60
その他	293	282
貸倒引当金	△11	△11
固定資産	9,708	10,130
有形固定資産	5,509	5,394
建物及び構築物	5,861	5,714
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,176	△4,056
建物及び構築物（純額）	1,685	1,657
機械装置及び運搬具	6,173	5,957
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,101	△4,963
機械装置及び運搬具（純額）	1,072	993
土地	2,150	2,150
建設仮勘定	184	162
その他	2,255	2,123
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,839	△1,692
その他（純額）	415	430
無形固定資産	265	278
その他	265	278
投資その他の資産	3,933	4,456
投資有価証券	3,856	4,387
長期貸付金	5	5
繰延税金資産	0	8
その他	71	55
貸倒引当金	△0	△0
資産合計	17,896	17,183

(単位：百万円)

	当連結会計年度 (2025年3月31日現在)	前連結会計年度 (2024年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	2,836	3,226
支払手形及び買掛金	1,290	1,336
1年内返済予定の長期借入金	94	164
未払費用	536	539
未払法人税等	2	207
賞与引当金	238	225
設備関係支払手形	65	155
その他	610	596
固定負債	2,907	1,813
長期借入金	1,262	106
繰延税金負債	891	928
退職給付に係る負債	698	710
その他	54	68
負債合計	5,743	5,039
純資産の部		
株主資本	10,458	10,104
資本金	3,537	3,537
資本剰余金	972	969
利益剰余金	6,049	5,706
自己株式	△99	△108
その他の包括利益累計額	1,693	2,039
その他有価証券評価差額金	1,691	2,037
退職給付に係る調整累計額	2	2
純資産合計	12,152	12,144
負債・純資産合計	17,896	17,183

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当連結会計年度 (2024年4月 1日から 2025年3月31日まで)	前連結会計年度 (2023年4月 1日から 2024年3月31日まで)
売上高	12,766	12,406
売上原価	6,793	6,408
売上総利益	5,973	5,997
販売費及び一般管理費	5,169	5,281
営業利益	804	716
営業外収益	77	102
営業外費用	10	2
経常利益	870	815
特別利益	—	5
特別損失	97	—
税金等調整前当期純利益	772	820
法人税、住民税及び事業税	111	263
法人税等調整額	114	△139
当期純利益	547	697
親会社株主に帰属する当期純利益	547	697

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当連結会計年度 (2024年4月 1日から 2025年3月31日まで)	前連結会計年度 (2023年4月 1日から 2024年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	669	196
投資活動によるキャッシュ・フロー	△701	△1,152
財務活動によるキャッシュ・フロー	880	△362
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	848	△1,317
現金及び現金同等物の期首残高	1,092	2,409
現金及び現金同等物の期末残高	1,940	1,092

連結株主資本等変動計算書 (2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	3,537	969	5,706	△108	10,104	2,037	2	2,039	12,144
当期変動額									
剰余金の配当			△204		△204				△204
親会社株主に帰属する当期純利益			547		547				547
自己株式の取得				△0	△0				△0
自己株式の処分		2		9	11				11
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						△346	△0	△346	△346
当期変動額合計	—	2	342	8	354	△346	△0	△346	7
当期末残高	3,537	972	6,049	△99	10,458	1,691	2	1,693	12,152

TOPICS 1 腸に成分を狙い届ける ジンタンテクノロジー 「腸テク」シリーズ　3品　新発売

当社は、2025年4月8日から順次ドラッグストアにて、「タンサ脂肪酸」、「ビフィズス菌50億」、「オリゴとセンイ」の腸テクシリーズ3品を同時発売しました。

短鎖脂肪酸は、健康の最新トレンドとして大きな注目を集めているスーパー物質。ビフィズス菌などの善玉菌が、オリゴ糖や食物繊維をエサに生成する※もので、腸から全身に向けて様々な良い働きをすることが近年明らかになってきました。しかし、短鎖脂肪酸を直接摂取しても、胃や小腸の入口で吸収されてしまうため、腸の中までなかなか届きません。新発売の「ジンタン タンサ脂肪酸」は、森下仁丹が長年の研究で培ったシームレスカプセル製剤技術により、短鎖脂肪酸を腸に届けることに成功した画期的な製品です。

※当社製品の摂取による体内での動態を示すものではありません。

※「腸テク」シリーズイメージキャラクターに宮崎あおいさんが就任

ジンタンテクノロジーで「超えて届く、カラダはずむ」新ブランド。

人によって異なる腸内環境に合わせて、「タンサ脂肪酸」を中心とした
3つのサプリを継続的に摂取することで、カラダを整えます。

タンサ脂肪酸

元気の本命、短鎖脂肪酸。腸内細菌が作り出すスーパー物質を当社独自のプロテクト技術により、腸の中まで狙って届けます。

約30日分（30包）￥5,400（税込）

ビフィズス菌50億

ビフィズス菌は胃酸が弱点。当社独自のプロテクト技術で、腸まで生きた菌を手厚くガード。カラダを内側から輝かせます。

約30日分（30包）￥3,996（税込）

オリゴとセンイ

消化吸収されず、腸まで届く、善玉菌に必要な主な2つの栄養素オリゴ糖と食物繊維をたっぷり配合。溶けやすいサラサラ顆粒で手軽に摂取できます。

約10～30日分（30包）￥2,484（税込）

販売店

マツモトキヨシグループ
ココカラファイングループの店舗（一部店舗除く）
スギ薬局グループの店舗（一部店舗除く）
※2025年6月2日より、通販本店・モールでも販売開始

森下仁丹「腸テク」シリーズ（コーポレートサイト内）
https://www.jintan.co.jp/product/ct/tansa

TOPICS 2 森下仁丹『ビフィーナ® Slim』を香港限定で新発売

当社は2014年より、香港の代理店を通して、『ビフィーナ®』をはじめとした製品を香港の皆様にお届けしてまいりました。『ビフィーナ®』シリーズは、独自開発のシームレスカプセル製剤技術により、ビフィズス菌を生きたまま腸まで届けることが可能な製品です。

2025年3月に発売した『ビフィーナ® Slim』は、従来の『ビフィーナ®』に配合されているビフィズス菌と乳酸菌に、当社の独自素材である、ローズヒップ由来ティリロサイドを新たに含有。ローズヒップの顆粒化という技術的課題を克服したことで、飲みやすさと安定性を兼ね備えた製品です。

現地では、テレビCM、駅広告、WEB広告などの多角的なプロモーションを実施し、香港市場における新たな健康習慣の提案及び『ビフィーナ®』シリーズの香港展開を更に強化してまいります。

TOPICS 3 「健康経営優良法人2025（大規模法人部門）」に認定

当社は、経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2025（大規模法人部門）」に認定されました。

当社の認定は、健康経営優良法人としては7年連続であり、大規模法人部門での認定は4年連続となりました。

今後も当社は、従業員一人ひとりの健康意識をさらに高めていくとともに、健康維持・増進を支援する健康施策や職場環境づくりなどを通し、健康経営を実践してまいります。

2025 健康経営優良法人 KENKO Investment for Health 大規模法人部門

森下仁丹「健康宣言」（コーポレートサイト内）
https://www.jintan.co.jp/corp/health/

商　　号	森下仁丹株式会社　MORISHITA JINTAN CO., LTD.
資　本　金	35億3,740万円
事業の内容	医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器、並びに食品などの製造及び販売

事業所及び工場

本　　社	大阪市中央区玉造一丁目2番40号	電話（06）6761－1131（代表）
大阪テクノセンター	大阪府枚方市津田山手二丁目11番1号	電話（072）800－1040
滋賀工場	滋賀県犬上郡多賀町大字四手諏訪960番地12	電話（0749）48－7370
東京オフィス	東京都千代田区神田富山町10番地2 アセンド神田ビル6F	電話（03）6206－8138

【関連会社】
●株式会社森下仁丹ヘルスコミュニケーションズ
●株式会社MJ滋賀

役　員（2025年6月25日現在）

代表取締役社長	森下雄司
取締役	吉田秀章
取締役（社外取締役）	末川久幸
取締役（社外取締役）	河﨑保徳
取締役（常勤監査等委員）	大城広明
取締役（社外取締役）（監査等委員）	石原真弓
取締役（社外取締役）（監査等委員）	石黒訓
常務執行役員	石田英嗣
執行役員	地主紀之
執行役員	小林弘明
執行役員	伊藤和水

株式の状況（2025年3月31日現在）

発行可能株式総数…… 9,600,000株
発行済株式の総数…… 4,150,000株
株主数…… 6,124名

大株主の状況（2025年3月31日現在）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
株式会社森下泰山	1,095	26.8
ロート製薬株式会社	355	8.7
公益財団法人森下仁丹奨学会	211	5.1
株式会社三菱UFJ銀行	132	3.2
日本生命保険相互会社	111	2.7
株式会社ラクサン	106	2.6
株式会社徳島大正銀行	88	2.1
森下仁丹取引先持株会	61	1.5
三菱UFJ信託銀行株式会社	51	1.2
ピップ株式会社	43	1.0

（注）当社は、自己株式59,055株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率については、自己株式を控除して算出しております。

株主メモ

事業年度末日	3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日 （中間配当を行う場合　毎年9月30日）
定時株主総会	毎年6月
公告の方法	電子公告（https://www.jintan.co.jp/ir/） ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告により行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
金融商品取引所	株式会社東京証券取引所　スタンダード市場
株主名簿管理人 特別口座口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話（通話料無料）　0120-094-777

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

当社コーポレートサイトのご案内

当社コーポレートサイトで各種情報を公開しております。
是非一度ご覧ください。
https://www.jintan.co.jp/

▲ トップページ

▲ IR情報